

# 平成28年度 施政方針

平成28年度の市政運営について、3月の定例会で亀井市長が基本的な考え方を述べました。今号では、その一部を紹介します。(市ホームページに全文を掲載しています。)

総合企画政策室 63-7389

## ■元氣創造プロジェクト

3月定例会に、平成28年度から10年間を計画期間とする新しい本市の総合計画「新・理想郷プラン」を提案し、「元氣創造」「若者定住促進」「生涯現役」の3つのプロジェクトを重点戦略に掲げました。

「元氣創造プロジェクト」では、地域資源を生かした新商品の開発や6次産業化の推進など新たな産業や雇用の創出とともに、空き家や空き店舗の改修も含めた創業支援事業にも取り組み、地域産業の活性化を図ります。

また、「ものづくり条例」を具現化すべく、「ものづくりの里構想」の実現に向け、近畿大学工業高等専門学校を中心とする民産学官の連携に、新たに金融機関にも参画をいただき、名張市民産学官連携推進協議会として進化・発展させ、実施戦略の策定と体制づくりを努めていきます。

さらには、東大和西三重エリアにおける「修験道」をテーマにした新たな観光事業の展開により、外国人を含む観光客の誘致に努めるとともに、名張の元氣と活力を全国発信します。



## ■若者定住促進プロジェクト

「若者定住促進プロジェクト」では、本年9月から通院医療費助成の対象範囲を中学3年生まで拡大します。

また、第3子以降の保育料無償化対象年齢制限の撤廃や、待機児童の解消に向けた既存保育所等施設の整備・充実、各種地域型保育事業の新規開設に取り組みます。

加えて、9年間の義務教育課程に対し、4・5制の小中一貫教育の導入に取り組むとともに、5歳児を義務教育化した5・5制に向けた体制整備など、特色のある教育を推進していきます。

さらには、市立病院への産科設置に向けての検討・準備を進めるなど、若い世代が安心して働き、結婚・住まい・妊娠・出産・子育て・教育を切れ目なく支援していけるよう環境の整備に取り組みます。

また、空家バンクの創設や住宅相談体制の整備、中古住宅のリフォーム工事への支援などにも取り組めます。

## ■生涯現役プロジェクト

「生涯現役プロジェクト」では、特定健診・がん検診の受診率向上、生活習慣病の重症化予防等の取組を推進するとともに、地域づくり組織とともに取り組む「まちじゅう元氣!!プロジェクト」を推進し、健康づくり、介護予防の人材育成を図ります。

また、「地域福祉総合支援システム」を国へ提案し、全国初の事業化に向けて取り組めます。具体的には、地域包括ケアシステムを基本に、高齢者、子ども、障害者、生活困窮者、就労支援、認知症、健康づくり、難病、DV、消費者被害などの相談に対して、ワンストップで対応していきます。同時に、庁舎内および各関係機関とのネットワークを強化することで、市民一人ひとりが抱える複合的な問題を横断的に対応できる仕組みを構築します。そして、重点プロジェクトをはじめとする各種施策が円滑に進められるよう、市の組織・機構の見直しを行い、新たな行政課題への対応と総合計画のより一層の推進体制を整えていきます。



## ■名張躍進に向けた土台づくり

昨年9月の市議会定例会におきまして、平成28年4月からの固定資産税の独自課税導入に関する市税条例の一部を改正する条例を可決・成立いただきました。

市民の皆さんに新たな負担を求め大きな改革を行う以上、私も行政は、財源の効果的な活用とその成果について大きな責任を負うこととなります。したがって、将来にわたり行政サービスを安定的に提供できる持続可能な財政基盤を確立するため、これまで以上に歳入確保と歳出削減、また、効果・効率性の行政運営に努めていく必要があると考えます。

そのためには、「新・理想郷プラン」に定める3つの重点プロジェクトを市民の皆さんとの協働により職員が一丸となって推し進め、名張市が暮らしのまちとして未来に躍進するための土台づくりを、ここ2年間のうちに確たるものにしていきたいと考えておりますので、市民の皆さんのなお一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 3つの重点戦略から見た 平成28年度の主な事業内容

## 元 気創造プロジェクト

■ 若者移住・定住チャレンジ創業支援事業補助金 600万円

市内在住または移住を予定している若者に対して、地域資源を生かした起業を支援し、魅力ある創業環境を整備します。

創業にかかる経費の一部を支援するとともに、移住のための住宅リフォームや、空き店舗の活用に必要な経費の一部を助成します。



市内で創業する若者を支援します。

■ 観光戦略推進事業 1,009万円

学生による旅コンテストを開催するなど、さまざまな取組みを通じ、地元ならではの観光資源を発掘し、多様化する旅行者のニーズに対応していきます。

また、訪日外国人の誘客を図るなど、持続可能な観光振興、地域経済の活性化を図ります。



今年2月に「なばり旅コンテスト」を開催。旅行会社と連携し、商品化などを展開していく。

## 若 者定住促進プロジェクト

■ 第3子以降の保育料無償化事業 6,220万円

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりを進めるため、保育施設に入所している第3子以降の子どもの保育料を無償化します(平成28年4月から第3子以降の年齢を3歳未満とする制限を撤廃)



第3子以降の保育料を無償化し、多子世帯の経済的負担を軽減します。

■ 地域型保育事業 2億2,629万円

待機児童の問題を解消するため、地域型保育事業所に対して、保育所運営に伴う給付費や、施設の整備費などを支援し、地域型保育事業を推進します。



待機児童の問題を減らすため、さまざまな保育サービスの供給を増やします。

■ 空家対策事業 1,405万円

空家バンクの創設などによる情報提供や空家などに関するコーディネートを行うほか、子育て世帯が中古住宅を購入・リフォームする際の改修費用の一部を助成するなど、空家の利活用を促進します。



ホームページ「空家バンク」では市内の空家物件情報を掲載。※画像はイメージです

■ 子ども医療助成事業 1,553万円

通院に対する医療助成について、現行の対象範囲(小学6年生まで)を平成28年9月から、中学3年生まで拡大します(入院については平成27年4月から実施しています)。



中学3年生までの医療費を全額助成し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。※所得制限があります。

## 生 涯現役プロジェクト

■ 市民陸上競技場改修事業 4億3,000万円

現在の市民陸上競技場は昭和54年に作られて以降、トラック・フィールド共に老朽化しています。

平成33年に行われる国体のホッケー競技会場に選ばれたのを機に、競技者の安全確保などのために改修を行います。



フィールド部分の人工芝化や、トラックのウレタン舗装などを行います。

■ 地域福祉総合支援システム構築事業 1,500万円

高齢者、障害者、就労支援、子ども、健康づくり、認知症などの相談に対して、ワンストップで対応していきます。

同時に、市および各関係機関とのネットワークを強化することで、複合的な問題を横断的に対応できる仕組みを構築します。



地域包括支援センターに相談員を配置予定です。